

「授業構想力評価スタンダード（技術科）」

観点 \ 段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
A. 授業構想力			
1. 学習者の把握			
1) 学習者の実態把握	技能・技術の学習に対する理解度等の個々の学習者の実態を把握している。	技能・技術の学習に対する理解度，リーダーシップ等の個々の学習者の実態を把握している。	・クラス全体や個々の学習者に適した学習方法や教材を考慮し，授業構成の検討に活かしている。 ・学習者の生活経験の中でのものづくり離れや科学技術離れによる技術的能力の低下等の抱えている問題点などを把握し，授業構成に活かしつつ，授業展開上の一般的な課題を予測している。
2) 学習への構え・ルールづくり	・クラス全体として学習に取り組む姿勢を把握している。 ・技能・技術の学習に必要な実習や安全指導，これに必要な教科書等記載の基礎的なルールを把握している。	・クラス全体として学習に取り組む姿勢を把握している。 ・技能・技術の学習に対する興味・関心・意欲等の個々の学習者の構えを把握している。 ・技能・技術の学習に必要な実習や安全，これに必要なルールを把握している。	・クラス全体として学習に取り組む姿勢を把握している。 ・技能・技術の学習に対する興味・関心・意欲等の個々の学習者の構えを把握している。 ・技能・技術の学習に必要な実習や安全，これに必要なルール・法令と指導上の留意点等を把握している。
2. 目標の分類と設定	技能・技術の指導目標を把握している。	技能・技術の指導目標を把握し，観点別評価の4つの各観点と関連づけて捉えている。	・技能・技術の指導目標を把握し，観点別評価の4つの各観点と関連づけて捉えている。 ・目標を技能・技術の到達目標に照らして捉え，実際の授業展開を通じて，学習の評価が具体的に可能なように設定している。
3. 授業構成			
1) 教育内容の構成	技能・技術の学習内容を正しく理解した知識や技能・技術を教育内容として構成している。	技能・技術の学習内容を正しく理解し解釈した知識や技能・技術を整理して教育内容として，適切な指導計画のもとに構成している。	・技能・技術の学習内容を正しく理解し解釈した知識や技能・技術を整理して教育内容として，適切な指導計画のもとに構成している。 ・技能・技術の学習内容の背景となっている基礎的な物性・理論，技能・技術や，構想・設計，製（制）作の見通し，具体的な製（制）作，評価との関係から捉え，正しく理解し解釈した知識や技術を整理して教育内容としている。

観点 \ 段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
2) 教材(題材)の選択・構成	技能・技術の目標を達成するのに必要な適切な教材・教具を選択し、教育内容を構成している。	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な適切な教材・教具を選択し、教育内容を構成している。 - 技能・技術の学習に必要な機器・設備の整備等を行い、適切な教材・教具の製作ができ、教育内容の構成に活かしている。	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な適切な教材・教具を選択し、教育内容を構成している。 - 技能・技術の学習に必要な機器・設備の整備等を行い、適切な教材・教具の製作ができ、教育内容の構成に活かしている。 - 創意工夫した新しい技能・技術の学習に必要な教材・教具の開発や製作ができ、教育内容の構成に活かしている。
3) 授業過程の組織	技能・技術の目標を達成するのに必要な導入・展開・まとめの基本的な授業過程を組織できる。	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な導入・展開・まとめの基本的な授業過程を組織できる。 - 適切な学習評価活動に配慮した導入・展開・まとめの適切な授業過程を組織できる。	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な導入・展開・まとめの基本的な授業過程を組織できる。 - 技能・技術の目標を達成するのに必要な教材・教具の活用等を活かした授業過程を組織できる。 - 適切な学習評価活動に配慮した導入・展開・まとめの適切な授業過程を組織できる。
4) 学習法・学習形態の選択・組織	技能・技術の目標を達成するのに適切な学習法と学習形態を選択し組織できる。	- 技能・技術の目標を達成するのに適切な学習法と学習形態を選択し組織できる。 - 技能・技術の学習内容等に応じて学習法と学習形態を適切に変更できる。 - 技能・技術の目標を達成するために、学習者の実態や安全に配慮した学習法と学習形態を適切に選択し組織できる。	- 技能・技術の目標を達成するのに適切な学習法と学習形態を選択し組織できる。 - 技能・技術の学習内容等に応じて学習法と学習形態を臨機応変に選択し組織できる。 - 技能・技術の目標を達成するために、学習者の実態や安全に配慮した学習法と学習形態を適切に選択し組織できる。 - 技能・技術の学習に必要な教材・教具、機器の活用を配慮しつつ、適切な学習法と学習形態を臨機応変に選択し組織できる。
4. 単元計画(授業計画)			
1) 単元(授業)計画の作成	技能・技術の目標を達成するのに必要な指導計画の作成に配慮すべき事項を理解し、基本的な指導計画を作成できる。	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な指導計画の作成に配慮すべき事項を理解し、適切な指導計画を作成できる。 - 技能・技術の目標を達成するのに必要な指導計画の作成に配慮すべき事項を理解し、年間ま	- 技能・技術の目標を達成するのに必要な指導計画の作成に配慮すべき事項を理解し、適切な指導計画を作成できる。 - 技能・技術の目標を達成するのに必要な指導計画の作成に配慮すべき事項を理解し、年

観点 \ 段階	段 階 1	段 階 2	段 階 3
		たは全学年を見通した適切な指導計画を作成できる。	間または全学年を見通した適切な指導計画を作成できる。 ・各分野の学習内容が有機的に関連づけられるように指導計画の作成に配慮できる。
2) 学習指導案の作成	技能・技術の目標を達成するのに必要な基本的な学習指導案を作成できる。	・技能・技術の目標を達成するのに必要な学習指導案を作成できる。 ・教授・学習活動，教育内容，資料・教材を区別して記述するとともに，授業の目標との関わりが分かるように授業過程を示し記述できる。 ・技能・技術の目標と学習評価の活動とが一体となった学習指導案を作成できる。	・技能・技術の目標を達成するのに必要な基本的な学習指導案を作成できる。 ・教授・学習活動，教育内容，資料・教材を区別して記述するとともに，授業の目標との関わりが分かるように授業過程を示し記述できる。 ・技能・技術の目標と学習評価の活動とが一体となった学習指導案を作成できる。 ・他の授業者が的確に授業の再現が可能な学習指導案の作成ができる。
3) 学習評価計画の作成	関心・意欲・態度，思考・判断，技能・表現，知識・理解の各観点ごとに，評価活動を評価している。	授業目標，授業構成，授業展開の実際との一貫性のある具体的な評価項目と評価活動・方法を計画し明示している。	・学習者が取り組む学習問題や学習活動に即して，診断的評価（指導前の評価），形成的評価（指導過程での評価），総括的評価（単元終了時のまとめの評価），学習者の自己評価などの評価活動を適切に選択し計画している。 ・評価のための多様な手立てを工夫している（発言，カルテ，プリント，ノート，作品，ペーパーテスト等）。